

2024~2025 黎明季報

第 4 号

We Serve

ライオンズクラブ 国際協会 337-D地区 鹿児島 R-1Z

鹿児島黎明ライオンズクラブ

クラブ会長スローガン

楽しく交流、進んで奉仕

会長 L.有馬 洋

ライオンズクラブ国際協会 377-D地区 鹿児島 R.1Z・2Z

鹿児島市内11LC新年合同例会

令和7年1月22日（水）午後6時半より城山ホテル鹿児島のエメラルドホールで約180人が参加して行われました。例会はL.有馬洋会長の開会宣言・開会ゴングで始まり、国歌斉唱のあと、L.千原弘はじめ4人の物故会員へ黙祷を捧げた後、式に入り、来賓の下鶴隆央鹿児島市長が祝辞を述べ、地区役員代表として地区ガバナーL.宇都要一が会員増強、LCIF、地区年次大会の3つに触れて挨拶をされました。閉会宣言・閉会ゴングの後祝宴に入りました。祝宴司会は黎明LC幹事L.樋口と中央LC幹事代理のL.牧瀬が勤めました。地区役員と各クラブ会長での鏡割りの後、第1副地区ガバナーL.脇黒丸の乾杯で宴会が始まりました。アトラクションでは琴の演奏に加えて琴とヴァイオリンのコラボもあり、華を添えていました。ラッキーカード抽選会ではL.下野とL.假屋が山形屋の商品券をゲット。最後に会場全体に大きな輪を作って「また会う日まで」を歌って、ライオンズロア3声で会は終了しました。



有馬会長開会宣言

下鶴市長祝辞

鏡割りの後、脇黒丸乾杯音頭

琴とヴァイオリン(城山LC今林さん)のコラボ



地区役員・各クラブ会長揃っての鏡開きのあと、L.脇黒丸による乾杯の挨拶

◆ 今年初めての早朝清掃 2月2日（日）節分の日 ◆

1月は雨のため中止でしたが、2月2日節分の日に7時半より、継続アクトの西郷・大久保生誕地公園の清掃があり三州原学園子どもさん達、L.千原息子基彦氏も参加されました。気温は12度と寒くなく、また公園には落葉も少なく清掃は短時間で終了しました。会長挨拶後、千原基彦氏より葬儀への御礼がありました。L.瀬戸山から節分の恵方巻とほうじ茶を頂きました。感謝！3月からの早朝清掃は午前7時から始めます。



◆ 明倫ライオンズクラブ創立20周年記念式典開催される ◆

2月9日（日）午前11時より城山ホテル鹿児島にて記念式典並びに祝賀会が開催され、黎明LCからはL.脇黒丸、L.有馬、L.瀬戸山、L.下野、L.狩生、L.樋口、L.伊東の7名参加。明倫LCのスポンサークラブは城山LCで2005年2月結成されました。現会員数は8名でしたが素晴らしい心に残る式典祝宴でした。改めてライオンズ活動は会員数が問題



ではなく、そこに如何に情熱を注ぐかだと思っただけでした。式典祝宴とも司会は黎明LCのHPでお世話になっているL.前田豊年とMBCアナウンサーの今井女史が担当。下鶴鹿児島市長は祝辞の後、最後まで参加されました。アトラクションは、トレーニング・インストラクターの牧角夏美女史でテーマは「健康寿命で生き抜く～今の自分（体）と向きあう～」で、参加者も一緒になっての体操?でした。話の中で犬を連れての散歩は運動ではないと言うことを話され、参加者からどうすれば良いかと質問もしていました。。最後は会場一杯に大きな輪を作って「また会う日まで」を歌い、ライオンズロアの3声で会は終了しました。

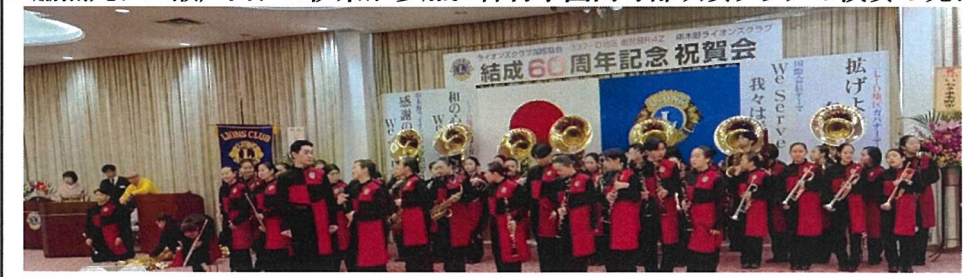
◆ 川内第一LCの例会を訪問しました ◆ 2月13日（木） 幹事 L.樋口翔馬

先般、キャビネットからL.宇都、L.西山をはじめ、川内第一LCの多く会員様が例会訪問して下さいこともあり、お礼を兼ねて、卓話をさせて頂くために例会訪問しました。弁護士業において重要と考えている理念も踏まえ、その本業で培った知見を如何にライオンズ活動に活かしてゆくことが出来るのかいう点について語り、自身の果たすべき役割を再認識する良い機会になりました。私が初めて法廷に立ったデビュー戦は、川内の裁判所での刑事裁判（交通事故）だったので、そのようなゆかりのある地で、多くのLに歓迎して頂き、至れり尽くせりの宴でした。



◆ 串木野LC創立61周年記念式典開催される ◆ 2月23日（日） ホテルアクシア串木野

鹿児島LCがスポンサークラブとなって1965年2月設立の串木野LCの創立60周年記念式典が塩田鹿児島県知事を始め多くの来賓、地区役員、プラザークラブなど約240名の参加の下、盛大華やかに開催されました。黎明LCはL.脇黒丸、L.瀬戸山、L.伊東が参加。神村学園高等部吹奏クラブの演奏の元、国歌斉唱、ライオンズクラブの歌斉唱で式典が開会、記念事業発表の後、祝宴に入りました。アトラクションでは神村学園高等部吹奏楽部、創作太鼓琉苺華、住吉社中の琴・三味線など盛り沢山で祝宴に華を添えていました。



◆ ライオン誌日本語版2025年冬号 特集：小人数クラブ を読んで ◆ L.伊東祐久

同誌によると現在日本のクラブ数は2694、会員数は92,777人となっています。その中、会員数が少ないながらも質の高い運営を維持し、大勢の会員がいた頃と変わらないアクティビティを継続しているクラブの特集が組まれていました。掲載されたクラブの人数や主なアクトの一部は下の表の通りです。いずれも20人以下のクラブですが、知恵を絞って

神奈川県 中井LC 20人	新アクト 新一年生に連絡帳とアサガオ栽培セット贈呈	活動をされています。先日20周年記念式典を行った鹿児島明倫LCも8人ですが、記念事業として鹿児島市愛の福祉基金へ志納、特別支援学校へ200名分の節分プレゼントなど多くの
北海道 江部乙LC 18人	「えびおつプロギング」ジョギングしながらゴミ拾い	
山形県 鶴岡ナイツLC 11人	山形県ふるさとの川愛護活動支援事業	
茨城県 利根LC 11人	とね七福神めぐり（13和コース歩き） 催事での出店	
静岡県 三島泉LC 14人	三島泉LC杯子ども将棋大会 青空将棋教室開催	
滋賀県 野洲LC 16人	カープミラーや安全標識の清掃及び点検	
広島県 広島もみじLC 7人	薬物乱用防止教室開催、子ども食堂への協力	
大分県 佐伯LC 10人	佐伯LC杯小学生サッカー大会 中高生の英語弁論大会	

事業をされており感服しました。確かに我が黎明LCは50名以上の時もありましたが、今 20人余。厳しい予算の中での事業遂行には厳しいものがありますが、皆で知恵を絞って実りある活動をしなないと行けないと感じました。

◆ 2025年FVDG/DGEセミナーに参加して ◆

L.脇黒丸一典

2月10日から13日迄 米国イリノイ州セントチャールズズの研修施設「Qセンター」で行われたセミナーに参加しました。第1副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト（FVDG／DGE）セミナーとは、次年度地区ガバナーとして地区運営の最高責任者になるFVDG／DGEに、ライオンズクラブを強化・構築していくために必要な知識、ビジョン、スキルを身に付けてもらうことを目的とした集中研修セミナーです。日程は表の通り。鹿児島9日(日) 羽田前泊 10日羽田発 帰宅は15日(土)羽田着・鹿児島着でした。

シカゴOHARI空港からQセンター研修所まで約1時間、Qセンターに着いた時は－6度、今迄体験したことのない寒さではありましたが思ったより寒く感じず、館内は暖房が効き快適な施設で過ごすことが出来ました。

世界各国からFVDG(1副地区ガバナー)700名を超えるLIONがセミナーに参加、日本からは34名の参加でした。

1日目・歓迎セレモニー

2日目・国際大副会長との写真撮影・Lions international 本部ツアー・開会式・オリエンテーション

3日目・オリエンテーション（バランスのとれたリーダーになるため）（チームの管理）（会員拡大戦略）

4日目・オリエンテーション（LCIFテーマ・ディスカッション）（行動計画WS）（変革をリードする）（まとめ）・閉会式

セミナーの内容については事前に課題が出題されておりその内容について突っ込んでの研修でした。

行動計画の進め方、奉仕事業、指導力育成、ミッション1.5

LCIF等のそれぞれの行動手順、責任者、チームメンバーテクノロジー資金、開始日、完了日を段階ごとに進めながら進捗評価しつつ目標達成する。一番大事な事は奉仕を行う為にはクラブを増やし会員増強する事である。

ライオンズがここ迄発展できたのはLCIFがあったからだとの事で『1人の100歩より100人の1歩』が大事、つまり大事なものはLions会員一人当たり100ドルの寄付が大事だということです。

2月9日～15日まで、日本の第1副地区ガバナーは勿論、世界各国の第1副地区ガバナーのLionと交流し、大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。Qセンターの会場は広く、施設での7日間で55100歩と一日当たり8000歩近く歩かねばならない広大な会場でしたが、良い運動になりました。皆さんとの別れを惜しみつつQセンターを後にしました。

「別れを惜しむよりも、出会えたことに感謝したい、有難う」



【編集後記】

今年は巳年、脱皮して成長してゆくと言われています。ライオンズクラブも昨日よりも今日、今日よりも明日へと進化したと願いますが・・・年のはじめから色々な会が催されました。その報告を中心に今号を作成しました。特にL.脇黒丸は次期ガバナーとして極めて多忙な日々を送られています、2月にイリノイ州での研修に参加されましたので、その報告を頂きました。宇都地区ガバナーも「一人の100\$よりも100人の1\$」と強調されていますが、その思いは皆で共有したいと思います。永年交流のある三州原学園ですが、今年は2名卒園されます。その二人に黎明LCとの思い出と将来の夢を寄せて頂きました。二人の将来に幸多かれと願うばかりです。今号は最後のページを三州原学園に関した頁にしましたので、編集後記は3頁下に掲載しました。ご理解ください。 L.伊東祐久



鹿児島黎明ライオンズクラブの皆様へ

私たちは三州原学園を卒園します 有り難うございました

ミヤガ アンナ
宮永 杏那



私は三州原学園を卒園したら、霧島市にある第1幼児教育短期大学に進学します。

幼い頃に施設に入所した私は不安でいっぱいでした。そんな時、「大丈夫だよ」と優しく声をかけてくれ、不安を軽減してくれたのが当時の施設の保育士さんでした。私も、そんな子どもたちに優しく寄り添えるような保育士になりたいと思い、保育士を目指しました。そんな保育士になるために短大で身につけたいことが二つあります。一つ目はピアノです。高校時代の学科の系列でピアノを頑張ってきました。

基礎は弾くことができるため、より一層上達するために、笑顔で弾くことや、弾き語りができるように頑張っていきたいと思っています。二つ目は友達と良い関係を築く事です。保育士ではコミュニケーション能力が大切になるため、まずは友達との関係を大切に、日常からコミュニケーション能力を身につけていきたいと思っています。このように目標に向かって頑張りたいと思っています。また在籍した中で、ライオンズの方々が行っている早朝 清掃にボランティアに何度か参加させていただきました。活動に参加させて頂いている中で、一人では簡単に出来ない事も集団で協力することで達成することも出来るのだと実感することが出来ました。また継続可能な社会への貢献や環境保全の重要性を学ぶことが出来ました。このような経験を活かし目標に向かって頑張りたいと思っています。

テラダ コウ
寺田 光希



私は伊集院高校に通っています。部活は水泳部に所属していました。毎日、汗を流しながら水泳部の仲間と楽しく、時にはライバルとして競い合ったりもしました。また水泳は幼稚園の頃から高校まで十五年間してきたので、水泳は私の人生の中で欠かせない存在です。他にも高校3年生の時、クラスの副委員長を経験しました。各行事の取りまとめなどでクラスに貢献し、雑務をこなす中で学級中での友人も増え、これらの経験で自分自身を成長させる事ができました。高校卒業後は、熊本にある熊本工業専門学校に進学します。専攻が半導体機械工学科と決まりました。幼い頃から機械に興味があり、将来は新しい技術を生み出すエンジニアになりたいと思っています。三州原学園にいて2年間の間にライオンズクラブさんとはあまり多く関わる事が出来ませんでした。最後に早朝清掃に参加させて頂き、私に明るく話しかけてくださり、お茶を提供して下さり、感謝の気持ちで一杯です。これからは高校生活で培った知識や技術を活かし、専門学校でさらにスキルを磨くために努力します。新しい環境に身を置きながら、周囲の人たちと協力し合いながら自分の夢に向かって一歩ずつ進んでいきます。

三州原学園との交流例会などの写真より（順不同）



ライオンズ広場清掃



上段右白服 寺田君



早朝清掃



卒園生へ贈呈



献血運動に協力



新入生へハンドセルプレゼント



薩摩剣士隼人と



卒園生挨拶